

化粧コンクリート仕上げ用

PコンE-ス

Sealing cone hole cover and makeup mortar

【無収縮タイプ】Pコン穴(セパ穴)充填材

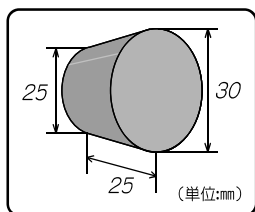


荷 姿

10kg紙袋

標準施工面積

約430個/袋
(5個/m²)



特 長

①無収縮

PコンE-スは、無収縮性を有する為、施工後の肉やせがなく、経年に起因する剥落を抑制します

②セパレータが錆びない

PコンE-スは、防水性や付着力に優れていますので、長期間に渡ってセパレータの防錆効果が持続します

③自然な仕上がり

PコンE-スは、コンクリートに近い色に調色しています

試験 表

下記の試験結果は、試験方法によって定められた条件によって得られたデータであり、実際の現場での性能を保証しているものではありません。

(1)品質性能試験

二瀬窯業株式会社 試験室

項目 [単位]	PコンE-ス	現調モルタル(1:3)	試験方法
曲げ強さ [N/mm ²]	材齢1日	5.7	3.0
	材齢3日	7.6	4.5
	材齢7日	8.5	5.7
	材齢14日	9.0	6.0
	材齢28日	9.5	6.2
圧縮強さ [N/mm ²]	材齢1日	33.9	12.6
	材齢3日	56.1	28.3
	材齢7日	57.4	33.6
	材齢14日	62.8	35.6
	材齢28日	65.8	35.7
長さ変化率 [%]	0.06	0.09	JIS A 1129
透水試験 [mℓ/h]	0.05	0.4	JIS A 6916

(2)定着強さ試験

項目 [単位]	試験結果	試験方法
定着強さ [N/mm ²]	2.45	150×150×150(mm)の型枠にPコンを取付けてコンクリートを打設した試験体にPコンE-スを充填し、材齢28日まで養生した。
温冷繰返し後の定着強さ [N/mm ²]	3.13	
定着強さ		エポキシ系接着剤にてアタッチメント貼り付け、硬化まで静置後に建研式接着剤試験器を用いてアタッチメントを引っ張り荷重を測定した。荷重からPコン穴(φ30)の面積で割り、定着強さを求めた。 温冷繰返し試験後の定着強さは、試験体の作成方法(養生方法)については、JIS A 6909の試験方法に準じて行った。測定試験は上記の定着強さの試験方法にて行った。
温冷繰返し後の定着強さ	 セパレータの先端部分での内部破断	
定着強さ	 接着剤破断のため3.13N/mm ² 以上の定着強度があると考えられる。	

(3)暴露試験

項目 [単位]	試験結果	試験方法
暴露試験	錆びなし	定着試験後の試験体(セパレータ一部分で破断していないもの)を屋外に打設面を上に向け軽く斜めにした状態で半年間放置し、試験体を半分に切断したのに対してセパレータ一部分の錆の有無を目視にて確認した。

日本建築仕上材工業会登録	
登録番号	1708006
放散等級区分表示	F☆☆☆☆
問合せ先	http://www.nsk-web.org/

水濡れ厳禁 無石綿 業務用

二瀬窯業株式会社

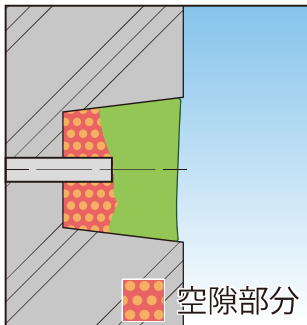
Making quality premix mortar through research and development

施工方法



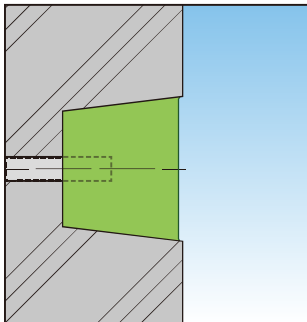
Pコンエースは超固練り（バサモル）タイプの材料です。

《間違った施工》

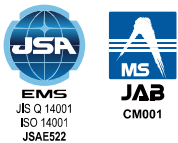


材料の充填不足で空隙部分が残ると浸水等によって金具が錆びて爆裂したり、剥落などが発生する可能性が高まる。

《正しい施工》



材料が奥まで適正に充填された状態。長期間に渡って剥落などを効果的に抑制する。



ISO 14001取得企業

＜下地の準備＞

- Pコン穴（セパ穴）部分のレイタンス処理を行い、水洗い等で健全な部分まで清掃して下さい。
- セパレータの金具部分に錆が見られる場合は除去して下さい。

＜Pコンエースの混練＞

- 混練後60分以内に使い切れる量を手練り等で混ぜりムラのないよう均一に練り混ぜて下さい。
- 混練後は、水がとばないように日陰に置く等して下さい。



＜Pコンエースの充填＞



何層かに分けながら突き固め、木コン鋺等でよく押し固めて平滑に仕上げして下さい。

※過剰な摩擦をかけて仕上げた場合、表面が黒くなる場合があります。

＜養生＞

塗り付け後急激な乾燥・凍結がないように適切な方法で養生を行って下さい。

注意事項

- ① ご使用にあたってはマスク、手袋、防塵マスク等を使用して下さい。
- ② 目に入った時は、清浄な水で洗眼した後、直ちに医師の手当てを行って下さい。
- ③ 飲み込んだ場合は、水で口の中を洗い、直ちに医師の手当てを受けて下さい。
- ④ 材料の保存は、地面や床へ直置きしないようパレット等使用して湿気を避け、直接日光や雨が掛からないようシート掛けなどを施して下さい。
- ⑤ 降雨・降雪時の施工は行わないで下さい。
- ⑥ 気温5℃以下及び5℃以下になると予想される場合は、施工は行わないで下さい。
- ⑦ 固くなったモルタルへの再加水は行わないで下さい。
- ⑧ Pコンエースには練水の外、弊社が特に指定するもの以外は混入しないで下さい。
- ⑨ Pコンエース施工後の硬化前の雨水等による濡れは、白華（エフロレッセンス）の原因となりますので注意して下さい。
- ⑩ Pコンエースの品質保持期間は製造後4ヶ月です。

⚠ Pコンエースは、安全に正しくお使い下さい。

施工要領・SDS等は別途ご請求下さい